

## 【 8 款 土木費 】

地域の産業、経済、文化ならびに観光産業の発展、市民の日常生活の向上を図るうえでも道路交通網の整備は不可欠なものであり、建設行政の役割は多大なものがある。近年の厳しい社会情勢の中で、限られた財源を有効に活かしながら、平戸市総合計画に基づき、「安全・安心なまちづくりの推進」「まちを支えるネットワークの充実」の2本を柱に建設事業を推進した。

また、河川改良、急傾斜地崩壊対策事業などの緊急的な事業の実施により、市民の生命と財産を災害から守る防災施設の整備も行った。

都市計画事業では、自然と調和した機能的で美しく、快適に暮らせる環境を目指し、街なみ環境整備事業、まちづくり総合整備事業や都市公園の整備を行い、安心・安全なまちづくり、個性的で魅力ある街なみづくりの整備に努めた。また、本市にふさわしい都市の将来像の実現に向けた指針となる都市計画マスタープランの策定に向けた取り組みに着手した。

住宅事業では、大久保団地の建替事業を行ったことにより、入居者及び地域の居住環境の整備を図るとともに、老朽化した既存住宅の改修を行い、安全で快適な住環境づくりに努めた。

### (1) 道路新設改良

実施計画に基づき、交付金事業として山中・紐差線外2路線、過疎対策事業として南川原循環線外6路線、辺地対策事業として深月線外5路線の計16路線の改良舗装工事を実施するとともに、県関連事業、単独改良工事等を実施し、豊かで住みよい生活環境づくりに努めた。

### (2) 橋りょう整備

今後、老朽化する橋りょうの維持・修繕費用の増大に対応するため、平成23年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの修繕等に係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することに努めた。

### (3) 河川改良

河川改良工事においては、木ヶ津川外21河川の工事実施により、河川の氾濫及び護岸の崩壊を防止し、住民の安全確保に努めた。

### (4) 急傾斜地崩壊対策

災害危険箇所指定された地域において、市営事業（県補助）として小川地区（度島町）外1地区の工事を実施し、安全・安心なまちづくりに努めた。

### (5) 建設海岸自然災害防止対策

建設海岸の災害防止のため、県営事業において船越地区と主師地区の海岸護岸の整備を行い、安全・安心なまちづくりに努めた。

### (6) 港湾整備

船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性を確保するため港湾整備を行った。

### (7) 都市公園整備

市内に設置している都市公園の利便性向上と安全性の確保のため、老朽化した施設を改修し、利用者の憩いの場として整備を行った。

### (8) 美しいまちづくり推進事業

平成15年度に「歴史を活かした歩いて楽しいまちづくり」を基本理念とした平戸港周辺地区景観形成事業基本計画を策定し、街なみ環境整備事業整備方針とした。平成17年度からは平戸城下旧町地区街なみ環境整備事業計画に基づき、修景施設、道路美化、電線類地中化等の整備を進めている。

平成24年度は、住宅等修景として崎方地区、4町地区（浦の町・宮の町・木引田町・新町）、2町地区（魚の棚町・職人町）、地区施設整備として、電線類地中化実施に伴う連係設備、道路美化等の整備を行った。

また、まちづくり景観資産登録・保全制度により、景観資産として登録されている建造物の現状を保存するため改修事業を行うとともに、亀岡神社（本殿・拝殿・神楽殿・幣殿）の登録を行った。加えて、平戸城下旧町地区広告景観モデル地区支援制度に基づき、屋外広告物の除却・改修の助成を行った。

また、平成21年度に策定した「都市再生整備計画」に基づき、市街地中心部の活性化を図るため、まちづくり交付金を活用した「まちづくり総合整備事業」を行っている。

平成24年度は、都市計画道路亀岡循環線の改築事業を行い、また、平戸観光交流センター(仮称)建設事業については、設計業務を実施した。

### (9) 住宅整備

入居者の生活の安全及び住みよい住環境の向上を図るため、清水川住宅・上川団地・小田之平団地3棟48戸の外壁改修・屋上防水工事を行うとともに、老朽化した既存住宅の居住環境改善を行った。

また、大久保団地については、公営住宅1棟6戸の建設を行い、事業全体として建替9棟50戸及び集会所1棟を建設し、良質な住宅を供給するとともに、入居者及び地域の居住環境の整備に努めた。

| 事業名  | 事業内容  | 事業費     |
|--|---|---------|
| 活力創出基盤整備<br>総合交付金事業<br>(建設課)<br>【事項別明細書 260 頁】 | ①堤線<br>事業費 325,500 千円<br>うち年度内支出 86,600 千円<br>(改良) L=623m W=5.5 (7.0) m   | 86,600  |
| 地域活力基盤創造<br>交付金事業<br>(建設課)<br>【事項別明細書 264 頁】   | 【平成 23 年度繰越明許費】<br>①山中・紐差線<br>事業費 245,000 千円<br>うち年度内支出 134,900 千円<br>(改良) L=745m W=5.5 (9.25) m<br>(舗装) L=869m W=5.5 (9.25) m<br>②山中・紐差線(橋りょう)<br>事業費 21,400 千円<br>うち年度内支出 15,400 千円<br>(測量) L=420m W=5.5 (7.0) m<br>③神宮坂口線<br>事業費 22,400 千円<br>うち年度内支出 1,400 千円<br>(測量) L=1,073m W=5.5 (9.25) m<br>事務費 18 千円  | 151,718 |
| 過疎対策道路整備<br>事業<br>(建設課)<br>【事項別明細書 260 頁】      | ①南川原循環線<br>22,000 千円<br>(改良) L=146m W=4.0 (5.0~6.5) m<br>(舗装) L=336m W=4.0 (5.0~6.5) m<br>②田崎神鳥線<br>事業費 75,000 千円<br>うち年度内支出 42,300 千円<br>(改良) L=260m W=4.0 (5.0) m<br>(舗装) L=287m W=4.0 (5.0) m<br>③後平梅崎線<br>事業費 40,000 千円<br>うち年度内支出 34,800 千円<br>(改良) L=143m W=4.0 (5.0) m<br>(舗装) L=143m W=4.0 (5.0) m<br>④紙漣線<br>事業費 30,000 千円<br>うち年度内支出 14,400 千円<br>(改良) L=200m W=4.0 (5.0) m<br>⑤山中・紐差線<br>事業費 53,000 千円<br>うち年度内支出 38,200 千円<br>(舗装) L=561m W=5.5 (7.0) m<br>⑥川内清水線<br>事業費 10,000 千円<br>うち年度内支出 1,600 千円<br>(測量) L=520m W=4.0 (5.0) m | 153,300 |

| 財源内訳   |         |     |       | 事業の成果  |
|--------|---------|-----|-------|--|
| 国県支出金  | 地方債     | その他 | 一般財源  |  |
| 53,495 | 33,105  |     |       | 市民生活に密着した主要市道の整備を重点的に実施するとともに、その他の生活道路についても単独改良及び安全施設の設置等を実施し、流末排水路の整備、急カーブの改良、老朽箇所等の整備により、交通の安全が確保できた。そのなかで、本年度は、南川原循環線、主師海岸線、長崎鼻 1 号支線、岳平支線が完了した。<br>また、県営事業として、県道及び国道の改良、舗装工事が実施され、交通の緩和及び安全性が保たれた。 |
| 98,328 | 50,600  |     | 2,790 |  |
|        | 153,300 |     |       |  |

| 事業名                                       | 事業内容   | 事業費     |
|---|--|---------|
| 過疎対策道路整備<br>事業<br>(建設課)<br>【事項別明細書 262 頁】 | <p>【平成 23 年度繰越明許費】</p> <p>①南川原循環線 事業費 40,000 千円<br/>うち年度内支出 31,600 千円<br/>(改良) L=270m W=4.0 (5.0) m</p> <p>②後平梅崎線 事業費 20,000 千円<br/>うち年度内支出 10,300 千円<br/>(改良) L=41.8m W=4.0 (5.0) m</p> <p>③飯良中通線 事業費 5,300 千円<br/>うち年度内支出 4,800 千円<br/>(測量) L=590m W=4.0 (5.0) m</p>   | 46,700  |
| 辺地対策道路整備<br>事業<br>(建設課)<br>【事項別明細書 260 頁】 | <p>①深月線 事業費 40,000 千円<br/>うち年度内支出 38,900 千円<br/>(改良) L= 50m W=4.0 (5.0) m<br/>(舗装) L=213m W=4.0 (5.0) m</p> <p>②山の手線 事業費 23,000 千円<br/>うち年度内支出 2,500 千円<br/>(改良) L=120m W=4.0 (5.0) m<br/>(測量) L=804m W=4.0 (5.0) m</p> <p>③岳平支線 28,000 千円<br/>(改良) L=283m W=3.0 (4.0) m<br/>(舗装) L=360m W=3.0 (4.0) m</p> <p>④神山線 事業費 30,000 千円<br/>うち年度内支出 12,100 千円<br/>(改良) L=124m W=3.0 (4.0) m</p> | 81,500  |
| 【事項別明細書 262 頁】                            | <p>【平成 23 年度繰越明許費】</p> <p>①主師海岸線 事業費 34,000 千円<br/>うち年度内支出 20,800 千円<br/>(改良) L=262m W=4.0 (5.0) m<br/>(舗装) L=412m W=4.0 (5.0) m</p> <p>②深月線 事業費 50,000 千円<br/>うち年度内支出 37,300 千円<br/>(改良) L=163m W=4.0 (5.0) m<br/>(舗装) L=110m W=4.0 (5.0) m</p> <p>③長崎鼻 1 号支線 事業費 43,000 千円<br/>うち年度内支出 26,000 千円<br/>(改良) L=201m W=3.0 (4.0) m<br/>(舗装) L=230m W=3.0 (4.0) m</p>                       | 110,902 |

| 財源内訳  |         |     |      | 事業の成果 |
|-------|---------|-----|------|-------|
| 国県支出金 | 地方債     | その他 | 一般財源 |       |
|       | 46,200  |     | 500  |       |
|       | 81,500  |     |      |       |
|       | 110,900 |     | 2    |       |

| 事業名                                     | 事業内容   | 事業費    |
|---|--|--------|
|   | ④岳平支線 事業費 27,000 千円<br>うち年度内支出 15,000 千円<br>(改良) L= 77(176)m W=3.0 (4.0) m<br>⑤神山線 事業費 20,000 千円<br>うち年度内支出 11,800 千円<br>(改良) L=44m W=3.0 (4.0) m<br>事務費 2 千円  |        |
| 道路単独改良事業<br>(建設課)<br>【事項別明細書 262 頁】     | ①館浦 11 号線 事業費 10,000 千円<br>うち年度内支出 900 千円<br>(測量) L=250m W=4.0 (5.0) m<br>②単独改良事業 49,852 千円<br>市道猪渡谷線外 104 路線<br>③安全施設事業 10,210 千円<br>市道鮎川・早福線外 30 路線<br>④原材料支給 6,765 千円<br>その他(事務費) 907 千円  | 68,634 |
| 道路整備事業県工事負担金<br>(建設課)<br>【事項別明細書 262 頁】 | 主要幹線である国・県道に係る地域の産業、経済、文化及び観光産業の発展、市民の日常生活の向上のため、次の整備事業に対する負担を行った。<br>①国道 383 号<br>・川内工区<br><事業費 50,000 千円> 市負担金 7,312 千円<br>(改良) L= 80m W=6.0 (9.75) m<br>・上中津良工区<br><事業費 45,000 千円> 市負担金 6,210 千円<br>うち年度内支出 6,018 千円<br>(改良) L=240m W=6.0 (9.75) m<br>②国道 204 号<br>・田平荻田工区<br><事業費 45,000 千円> 市負担金 6,210 千円<br>うち年度内支出 3,308 千円<br>(測量) L=206m W=6.0 (9.75) m | 40,914 |

| 財源内訳  |     |     |        | 事業の成果 |
|-------|-----|-----|--------|-------|
| 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源   |       |
|       |     |     |        |       |
|       | 900 | 34  | 67,700 |       |
|       |     |     | 40,914 |       |

| 事業名                                     | 事業内容  | 事業費    |
|---|---|--------|
| 道路整備事業県工事負担金<br>(建設課)<br>【事項別明細書 262 頁】 | ③平戸田平線<br>・野子工区<br><事業費 60,000 千円> 市負担金 5,850 千円<br>(改良) L=190m W=6.0 (9.45) m<br>(舗装) L=190m W=6.0 (9.45) m<br>・飯良工区<br><事業費 45,000 千円> 市負担金 6,581 千円<br>うち年度内支出 4,768 千円<br>(測量) L=160m W=6.0 (9.75) m<br>・高越工区<br><事業費 45,000 千円> 市負担金 6,581 千円<br>うち年度内支出 5,090 千円<br>(改良) L=420m W=5.5 (7.0) m<br>(舗装) L=420m W=5.5 (7.0) m<br>④以善田平港線<br>・下寺工区<br><事業費 50,000 千円> 市負担金 7,313 千円<br>うち年度内支出 5,761 千円<br>(改良) L=290m W=5.5 (9.25) m<br>・瀬戸工区<br><事業費 30,000 千円> 市負担金 4,388 千円<br>うち年度内支出 1,645 千円<br>(改良) L=200m W=5.5 (8.95) m<br>⑤田の浦平戸港線<br>・崎方工区<br><事業費 20,000 千円> 市負担金 1,950 千円<br>うち年度内支出 1,162 千円<br>(改良) L=900m W=4.5 (7.0) m<br>(舗装) L=900m W=4.5 (7.0) m |        |
| 【事項別明細書 264 頁】                          | <b>【平成 23 年度繰越明許費】</b><br>①国道 383 号<br>・川内工区<br><事業費 45,000 千円> 市負担金 6,210 千円<br>うち年度内支出 3,514 千円<br>(改良) L=200m W=6.0 (9.75) m<br>・上中津良工区<br><事業費 45,000 千円> 市負担金 6,210 千円<br>うち年度内支出 3,603 千円<br>(改良) L=420m W=6.0 (9.75) m   | 24,704 |

| 財源内訳  |     |     |        | 事業の成果 |
|-------|-----|-----|--------|-------|
| 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源   |       |
|       |     |     |        |       |
|       |     |     | 24,704 |       |

| 事業名                                      | 事業内容  | 事業費    |
|--|---|--------|
|  | ②国道204号<br>・田平荻田工区<br><事業費 25,000千円> 市負担金 3,450千円<br>うち年度内支出 2,058千円<br>(改良) L=210m W=6.0 (7.5) m<br>③平戸田平線<br>・野子工区<br><事業費 20,000千円> 市負担金 19,500千円<br>うち年度内支出 10,733千円<br>(改良) L=170m W=6.0 (9.45) m<br>・飯良工区<br><事業費 20,000千円> 市負担金 2,925千円<br>うち年度内支出 183千円<br>(舗装) L=3,400m W=4.0 (5.0) m<br>・高越工区<br><事業費 45,000千円> 市負担金 6,581千円<br>うち年度内支出 3,779千円<br>(舗装) L=140m W=5.5 (7.0) m<br>④以善田平港線<br>・下寺工区<br><事業費 20,000千円> 市負担金 2,925千円<br>うち年度内支出 834千円<br>(改良) L=250m W=5.5 (7.0) m |        |
| 橋りょう整備事業<br>(建設課)<br>【事項別明細書 264頁】       | 橋りょうの腐食が進行しているため、次の補修事業を行った。<br>①早福橋橋りょう補修 (早福町) 630千円<br>取付補修<br>②町山橋橋りょう補修 (志々伎町) 1,070千円<br>床板補修 A=9.0 m <sup>2</sup><br>③尾の上橋橋りょう補修 (獅子町) 190千円<br>床板補修 A=1.6 m <sup>2</sup>  | 1,890  |
| 橋りょう長寿命化<br>事業<br>(建設課)<br>【事項別明細書 264頁】 | 年次補修・点検計画に基づき、計画的に橋りょうの修繕を行った。<br>①橋りょう長寿命化補修設計 11,760千円<br>4橋 (若宮橋、勝尾岳線第1号橋、遠見陸橋、平戸口跨線橋)<br>②若宮橋長寿命化補修 事業費 8,240千円<br>うち年度内支出 2,900千円  | 14,660 |

| 財源内訳  |     |     |       | 事業の成果   |
|-------|-----|-----|-------|---|
| 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源  |   |
|       |     |     |       |   |
|       |     |     | 1,890 | 橋りょう改修工事の施工により、住民の交通の安全が確保された。  |
| 9,529 |     |     | 5,131 | 道路交通の安全確保のため、これまでの事後保全的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換することで、橋りょうの長寿命化によるコストが縮減できた。 |

| 事業名   | 事業内容  | 事業費    |
|---|---|--------|
| 河川改良事業<br>(建設課)<br>【事項別明細書 264 頁】                     | 河川の氾濫及び護岸の崩壊防止のため、改修事業を行った。<br>護岸改修他 13,992 千円<br>木ヶ津川外 21 河川   | 13,992 |
| 急傾斜地崩壊対策<br>事業<br>(建設課)<br>【事項別明細書 264 頁】             | 災害危険箇所指定された地域の安全で安心できる生活基盤づくりのため、次の地区の防止事業を行った。<br>①潮の浦(2)地区 事業費 16,645 千円<br>L= 23.0m うち年度内支出 6,800 千円<br>②小川地区 事業費 23,955 千円<br>L= 38.0m うち年度内支出 8,200 千円 | 15,000 |
| 【事項別明細書 266 頁】  | 【平成 23 年度繰越明許費】<br>①潮の浦(2)地区 事業費 20,500 千円<br>L= 27.0m うち年度内支出 12,401 千円<br>②小川地区 事業費 10,200 千円<br>L= 16.0m うち年度内支出 6,100 千円                                | 18,501 |
| 急傾斜地崩壊対策<br>事業県工事負担金<br>(建設課)<br>【事項別明細書 266 頁】       | 県営事業で実施する次の地区の整備事業に対し負担を行った。<br>津吉地区<br><事業費 20,000 千円> 市負担金 5,000 千円<br>L=41.0m うち年度内支出 2,029 千円   | 2,029  |
| 建設海岸自然災害<br>防止事業県工事負<br>担金<br>(建設課)<br>【事項別明細書 266 頁】 | 県営事業で実施する次の地区の整備事業に対し負担を行った。<br>①船越前目地区<br><事業費 3,000 千円> 市負担金 205 千円<br>水叩工 L= 46.0m<br>②主師地区<br><事業費 2,000 千円> 市負担金 137 千円<br>護岸工 L= 10.0m                | 342    |

| 財 源 内 訳 |       |     |        | 事業の成果   |
|---------|-------|-----|--------|---|
| 国県支出金   | 地方債   | その他 | 一般財源   |   |
|         |       |     | 13,992 | 河川改修工事の施工により、河川の氾濫及び護岸の崩壊が防止され、住民生活の安全が確保された。       |
| 7,261   | 7,300 |     | 439    | 市の災害危険箇所指定された地域の崩壊防止工事の施工により、周辺住民の生命・財産を守ることができた。   |
| 9,250   | 7,500 |     | 1,751  |   |
|         |       |     | 2,029  |   |
|         |       |     | 342    | 護岸工事の施工により、高潮等からの災害を防止するとともに、海岸の浸食を防止し、国土の保全が確保された。 |

| 事業名  | 事業内容  | 事業費    |
|--|---|--------|
| 港湾整備事業県工事負担金<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 266 頁】    | 船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性を確保するため港湾整備を行った。平戸港においては、歩行者のオランダ商館までの動線確保のために栈橋タイプ遊歩道の整備に着手した。<br><br>①平戸港地域自立活性化事業<br>＜事業費 29,600 千円＞ 市負担金 2,753 千円<br>浮栈橋改良 1 基補修 1 基調査設計<br>②平戸港地域住宅効果促進事業<br>＜事業費 4,010 千円＞ 市負担金 501 千円<br>ボードウォーク L=91m 家屋事後調査<br>③大島港改修事業(港湾統合補助) (神浦地区)<br>＜事業費 7,800 千円＞ 市負担金 975 千円<br>道路改良 調査設計<br>④古江港県単海岸自然災害防止事業<br>＜事業費 15,170 千円＞ 市負担金 667 千円<br>護岸改良 200m 測量設計・埋立申請<br>⑤川内港県単海岸自然災害防止事業<br>＜事業費 5,910 千円＞ 市負担金 257 千円<br>護岸改良 200m 測量設計・埋立申請<br>⑥平戸港県単港湾改修事業<br>＜事業費 5,049 千円＞ 市負担金 1,136 千円<br>浮栈橋フェリー用鉄板嵩上げ | 6,289  |
| 【事項別明細書 268 頁】                               | 【平成 23 年度繰越明許費】<br><br>①平戸港地域住宅効果促進事業<br>＜事業費 175,000 千円＞ 市負担金 21,875 千円<br>ボードウォーク 測量設計等 L=91m   | 21,875 |
| 都市計画マスタープラン策定事業<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 268 頁】 | 本市にふさわしい都市の将来像の実現に向けた指針となる都市計画マスタープランの策定を 3 か年かけて行う。<br><br>・平戸市都市計画マスタープラン策定業務 一式 5,000 千円<br>・都市計画の見直しに関する基礎調査委託 一式 1,354 千円<br>(江迎都市計画区域)<br>・その他事務費 184 千円<br>・期 間 平成 23 年度～平成 25 年度  | 6,538  |

| 財 源 内 訳 |        |     |       | 事業の成果   |
|---------|--------|-----|-------|---|
| 国県支出金   | 地方債    | その他 | 一般財源  |   |
|         |        |     | 6,289 | 港湾整備を行ったことにより、船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性が確保された。  |
|         | 20,700 |     | 1,175 |   |
| 1,354   |        |     | 5,184 | 平成 24 年度においては、都市計画マスタープランの全体構想及び地域別構想並びに実現化方策を検討した。また、江迎都市計画区域見直しの為の基礎調査を行ない、現況の把握ができた。 |

| 事業名   | 事業内容  | 事業費    |
|---|---|--------|
| 街なみ環境整備事業<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 272 頁】            | 平戸城下旧町地区街なみ環境整備事業計画の整備方針の、「歴史を活かした歩いて楽しいまちづくり」実現のため、町屋7棟の修景補助を行うとともに、公共施設整備として電線地中化、及び道路美装化、公共施設修景を実施した。<br><br>①修景施設整備（崎方地区） 整備棟数 3棟 10,457千円<br>②修景施設整備（四町地区） 整備棟数 3棟 11,419千円<br>③修景施設整備（2町地区） 整備棟数 1棟 3,998千円<br>④電線類地中化共同溝整備工事 L=158m 16,800千円<br>⑤地区施設整備 29,507千円<br>道路美装化工事(崎方) 一式 手すり整備 一式<br>道路美装化工事(四町) 一式 電柱移転補償費<br>⑥その他事務費 531千円 | 72,712 |
|   | 【平成23年度繰越明許費】<br>①平戸港交通船待合所修景工事 5,639千円<br>平戸港交通船待合所修景工事 一式<br>②松浦史料館下（崎方地区） 25,670千円<br>松浦史料館下道路美装化工事 一式<br>③その他事務費 54千円   | 31,363 |
| 美しいまちづくり<br>支援事業<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 272 頁】     | 特徴的で魅力ある景観資産を後世に残していくことを目的に、長崎県の景観資産に登録されている松浦家樓霞園について、経年による老朽化対策のため屋根の葺き替えを行った。また、広告景観モデル地区内において屋外広告物の除去、改修に対し助成を行い、街なみ景観と調和し魅力あるものとした。<br><br>①景観資産助成事業 整備棟数 1件 3,990千円<br>②屋外広告物助成事業 整備件数 3件 264千円   | 4,254  |
| 大島村神浦地区街<br>なみ環境整備事業<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 274 頁】 | 【平成23年度繰越明許費】<br>①地区施設整備 14,325千円<br>設計業務委託 一式 用地買収 一式<br>家屋補償 一式 施工管理業務委託 一式<br>小公園整備(公衆便所他) 一式<br>②その他事務費 55千円  | 14,380 |

| 財源内訳   |        |     |        | 事業の成果   |
|--------|--------|-----|--------|---|
| 国県支出金  | 地方債    | その他 | 一般財源   |   |
| 34,652 | 22,500 |     | 15,560 | 城下旧町地区において、平成17年度から24年度までに、電線類地中化や地区施設を整備するとともに修景施設を整備したことにより、歴史的な趣のある街なみが形成され、住民の街づくりに対する意識が向上し、城下旧町地区内全体にまちづくりの気運が高まった。 |
| 16,485 | 14,100 |     | 778    |   |
| 2,127  |        |     | 2,127  | 歴史的価値がある平戸の重要な景観資産を後世に残すことができた。また、城下旧町の通りの看板について、歴史的景観と調和した魅力あるものとすることができた。   |
| 7,162  | 6,800  |     | 418    | 大島村神浦地区の伝統的な街なみを活かしながら小公園を整備することで、地域住民や来訪者の利便性が向上した。  |

| 事業名                                      | 事業内容   | 事業費     |
|--|--|---------|
| まちづくり総合整備事業<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 272 頁】 | 平戸市北部地区の「美しいまちづくり支援地区」及びその周辺地域におけるまちづくりとして、平成 21 年度に策定した「都市再生整備計画」に基づき、都市計画道路亀岡循環線、平戸観光交流センターの整備に着手した。<br><br>①亀岡循環線整備 53,882 千円<br>改築工事 (3 工区)<br>照明灯 6 基<br>②平戸観光交流センター(仮称) 61,335 千円<br>解体工事 一式<br>事前調査等 一式<br>移転補償費 建物 2 件<br>③その他事務費 2,587 千円   | 117,804 |
| 【事項別明細書 274 頁】                           | 【平成 23 年度繰越明許費】<br>①亀岡循環線整備 255,593 千円<br>改修工事 (1 工区) L=179.5m<br>改修工事 (2 工区) L=310m<br>移転補償費 建物 2 件<br>土地購入費 1 件 A=208.58 m <sup>2</sup><br>②平戸観光交流センター(仮称) 7,831 千円<br>設計業務 一式<br>地質調査業務 一式<br>③その他事務費 154 千円  | 263,578 |
| 公営住宅整備事業<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 274 頁】    | 入居者の生活の安全及び居住環境の向上を図るため、老朽化した既存住宅の外壁改修及び屋上防水等の改善を行った。<br><br>【社会資本整備総合交付金事業】<br>・清水川 C 棟外壁・屋上防水工事 15,285 千円<br>・上川団地外壁・屋上防水工事 21,605 千円<br>・小田之平団地屋上防水工事 7,048 千円<br>【単独事業】<br>・大膳原 A 棟量水器取替工事 1,280 千円<br>・大膳原 B 棟受水槽取替工事 4,095 千円<br>・赤坂住宅敷地整備工事 283 千円<br>・山内団地敷地整備・舗装工事 2,454 千円<br>・下亀団地共聴施設設置工事 1,032 千円<br>・里団地敷地整備工事 847 千円<br>・大久保団地目隠フェンス設置工事 819 千円<br>・小田之平団地住宅排水主管取替工事 540 千円<br>・代作住宅フェンス外周整備工事 420 千円<br>・土地分筆登記委託 (馬の元・西中山) 1,463 千円 | 57,171  |

| 財源内訳    |         |     |        | 事業の成果   |
|---------|---------|-----|--------|---|
| 国県支出金   | 地方債     | その他 | 一般財源   |   |
| 37,382  | 59,400  |     | 21,022 | 亀岡循環線の改築工事を行い、都市計画道路の補償契約を取り交わし、護岸の一部が完成した。<br>また、平戸観光交流センター(仮称)の建物補償を行い、解体工事に着手した。 |
| 105,570 | 149,100 |     | 8,908  |   |
| 18,181  |         |     | 38,990 | 老朽化した既存住宅の利便性や安全性が改善され、入居者の生活の安全及び居住環境を向上させることができた。                                 |

| 事業名  | 事業内容  | 事業費    |
|--|---|--------|
| 高齢者向け優良賃貸住宅等家賃低廉化事業<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 274 頁】 | 居住用住宅を必要とする60歳以上の高齢者向け優良賃貸住宅(希望の里ひかり)へ入居する収入基準以下の高齢者の家賃減額分を助成した。<br>・家賃減額補助 1,054 千円<br>対象戸数：10 戸(管理数 20 中、10 戸ずつを市・県が助成)<br>延べ118 月  | 1,054  |
| 住宅・建築物耐震改修事業<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 274 頁】        | 昭和 56 年以前に建築された民間特定建築物の所有者に対し、耐震診断を行うための費用の一部を助成し、地震による人的・経済的被害の軽減を図った。<br>・建築物耐震化事業補助金 978 千円<br>生月町山田免 山田幼稚園  | 978    |
| 耐震・安心住まいづくり支援事業<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 274 頁】     | 昭和 56 年以前に建築された戸建木造住宅の所有者が行う耐震診断・耐震改修計画及び改修工事に係る費用の一部を助成し、地震による人的・経済的被害の軽減を図った。<br>・耐震化診断業務委託料(2 件) 60 千円<br>・木造住宅耐震改修補助金(1 件) 600 千円<br>・耐震改修計画作成支援事業補助金(1 件) 70 千円  | 730    |
| 老朽危険空き家除却事業<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 276 頁】         | 不良住宅や空き家が住環境の妨げとなっていることから、安全・安心な住環境づくりを促進するため、老朽化した危険な空き家の除却を行う者に対し費用の一部を助成した。<br>・老朽空き家除却事業補助金(2 件) 689 千円   | 689    |
| 大久保団地公営住宅建設事業<br>(都市計画課)<br>【事項別明細書 276 頁】       | 【平成 23 年度繰越明許費】<br>良質な住宅を供給するとともに、入居者及び地域の生活環境を整備するため、次の住宅建設事業を行った。<br>《地域住宅交付金事業》<br>①建築工事 45,925 千円<br>木造 2 階建 1 棟 建築面積 A=233.43 m <sup>2</sup><br>2DKタイプ 6 戸 延べ床面積 A=351.22 m <sup>2</sup><br>②屋外付帯工事 一式 5,105 千円<br>③機械設備工事 一式 4,828 千円<br>④電気設備工事 一式 5,197 千円<br>⑤建築設計監理委託 一式 3,208 千円<br>⑥その他事務費 441 千円 | 64,704 |

| 財源内訳   |     |     |        | 事業の成果   |
|--------|-----|-----|--------|---|
| 国県支出金  | 地方債 | その他 | 一般財源   |   |
| 469    |     |     | 585    | 高齢者が安心して居住できる住宅を提供することができるとともに、入居高齢世帯の負担を軽減できた。             |
| 733    |     |     | 245    | 民間特定建築物の地震による人的・経済的被害の軽減を図り、居住環境を向上させることができた。               |
| 498    |     |     | 232    | 民間木造住宅の地震による人的・経済的被害の軽減を図り、居住環境を向上させることができた。                |
| 344    |     |     | 345    | 住環境の妨げとなっている空き家の除却により、安全・安心な住環境づくりを促進するため、居住環境を向上させることができた。 |
| 27,145 |     |     | 37,559 | 良質な住宅が供給され、入居者が安全で快適な生活ができる居住環境を提供することができた。                 |